



阿部とし糸 議員

- 1、貧困家庭の子どもの現状を問う
- 2、投票所の集約を問う

本市の子どもの貧困、返済の現状をどのようにとらえ、勉強が好きで優秀でありながら、夢を断念していないか。そういった子ども等にとどのよ

うなアドバイスをし支援しようとしているか。市長 ひとり親家族の半数以上が貧困であるとの調査結果も出ている。

奨学金は、一部滞納はみられるものの順調に返済されている。償還対象者121人のうち、病气や怪我で遅れが見られる者は34人。返済期間の変

Q 全国的に貧困家庭の子どもたちが増えている。貸与型奨学金の返済や支払いに困難をきたしている人も多数いるという。

A 奨学金は、一部滞納はみられるものの順調に返済されている。償還対象者121人のうち、病气や怪我で遅れが見られる者は34人。返済期間の変

更延長契約、月々の返済金額の軽減を図っている。学習用具が揃わない。朝食を食べてこない。修学旅行の参加費を納入できない。部活の用具が準備できないといった例もある。児童・生徒や保護者が常に相談できる体制を整備する。情報を共有し、連携強化し、子どもの

Q 貧困家庭の子どもの現状を問う

A 常に相談できる体制を整備する



▲富田家(二代目日銀総裁富田鉄之助生誕)から寄付された鳴瀬未来中の敷地



多田 龍吉 議員

- 1、応急仮設住宅集約化計画の推移等について
- 2、学校移設後の跡地利用と活用について

Q 鳴瀬桜華小移転後の跡地の活用は、小野地区のまちづくりに大きく影響する。跡地の利用検討はいかに。

Q ①鳴瀬未来中と鳴瀬桜華小移転後の跡地の活用は、小野地区のまちづくりに大きく影響する。跡地の利用検討はいかに。

Q ②鳴瀬未来中の敷地は、新制中学校創設時に富田家から寄付されたもの。跡地の利用には一定の配慮が必要と思われるが。

Q ③鳴瀬桜華小の校地は歴

A 史も古く、学校施設・跡地のあり方について。市長 ①鳴瀬未来中・鳴瀬桜華小は小野地区の中心的施設として、教育面だけでなく長い歴史を繋いできた施設と認識している。地域の意見も把握しながら十分な検討を行い、地域活性化に寄与するようにしたい。

教育長 ②富田家の継承

者からは、先祖の意思を汲んでいただき、教育、福祉、まちづくりに繋がる活用の要望を受けている。経緯を十分踏まえ可能な調査の中で跡地の活用を考えたい。

③小野地区の活性化に繋がる計画が最も重要で、小野地域まちづくり協議会や関係機関と連携を密に検討を進めたい。

Q 学校移転後の跡地利用はいかに

A 地域懇談や広い分野から検討

宮城県高等学校等育英奨学資金貸付 予約奨学生募集

■対象・資格 保護者が宮城県内に住所を有している中学校3年生で、平成29年4月に高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部及び専修学校の高等課程に進学を希望する優れた生徒であつて、経済的理由により修学に困難がある方

■貸付月額

	国・公立	私立
自宅通学者	18,000円	30,000円
自宅外通学者	23,000円	35,000円

■採用方法 申請書類及び学校長の学力基準等の評定に基づき、学力・人物・家計が基準に適合するもの

■申し込み 在学している中学校にある申込書により、9月2日(金)まで、在学の中学校で受け付けします

■留意事項 この募集は平成29年4月に前述高等学校等に進学を希望する生徒の予約手続きです。この奨学金は宮城県の奨学金であり、東松島市の奨学金と重複して申し込みできません。

■問 教育総務課教育総務班 ☎内線1257

▲奨学資金について伝える市報